

令和2年度 第1回 大阪府立柏原東高等学校 学校運営協議会 議事録

日 時 : 令和2年8月5日(水) 14:00~

場 所 : 柏原東高等学校 校長室

出席者:【委員】

池嶋 伸晃(大阪教育大学 総合教育系 教授)

坂本 篤俊(柏原市立堅下北中学校長)

黒岩 真弓(P T A会長)

俵石 志津子(元P T A副会長)

中川 円香(同窓会副会長)

【事務局】

水元 誠致(校長)

吉岡 俊治(教頭)

吉野 達也(首席)

川田 明寛(首席、3年学年主任)

1 挨拶、学校運営協議会趣旨及び要綱説明 水元校長

2 学校運営協議会委員・事務局紹介 吉岡教頭

3 会長・副会長選出

4 学校運営協議会実施要項について 吉岡教頭

5 令和2年度取組みについて

(1) 学校経営計画について(水元校長)

○年2回の授業アンケートを活用した授業改善に取り組む。肯定的評価は毎年上昇している。第1回が終了し、各自で自己分析シートを作成中である。毎年全員に提出してもらっている。それをもとに、2学期に授業観察を行う。

○B-u p、特別進学コースの取り組みにより、8年連続学校斡旋就職率100%を達成、進学実績も向上している。今年度も継続できるよう引き続き取り組んでいく。

○中高連携事業として、柏原市立中学校での書写授業に取り組む。書写から書道へ繋がるような授業を展開している。柏原市立中学校から多くの生徒が入学するが、本校では書道選択者が一番多い。

○最終年度として、八尾翠翔高校への機能統合を完成させる。

○引き続き学校HPの高い更新頻度を維持して、情報公開に努める。校長ブログは、今年度当初は臨時休業があり難しいところもあったが、これからまた更新していく。

○教員の健康維持に向けて、勤務時間の自己管理に取り組む。仕事の無駄を省き効率的な勤務ができるよう努めていく。それがひいては生徒のためになると考えている。

【委員】

- ・中高連携書写授業について、生徒の個性を引き出す授業をしていただいている。今年度で柏原東は閉校になるが、来年度以降も柏原市として続けてほしい。

(水元校長) 柏原市にも働きかけて継続できるようにしたい。

- ・柏原東も経験の少ない教員が多いと思うが、本校でも約半数が35歳以下である。これらの教員が学年主任や生徒指導主事などを務めている。人材育成という点では、中学校も同じ課題がある。

(水元校長) 本校でも、本校が初任の教員が主事を務めているが、しっかり自覚を持って仕事をしてきている。本校は、教員を育てることについて高い評価を得ている。

【委員】

- ・就職に関して色々手厚く指導していただいている。細かいところまで目を配って指導していただけるので、安心している。

【委員】

- ・授業アンケートの結果が毎年上がっているということで、もう来年は見られないのかと思うと残念だ。

◎学校経営計画について、承認

(2) 中高連携事業について (吉岡教頭)

- 中高連携書写授業について、柏原市立中学校7校で年間5回(1学期2回、2学期2回、3学期1回)実施しているが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で3学期3校のみ実施となった。リビエールでの展覧会は、1月に実施できた。
- クラブ活動では、人数が減ってきたことから規模縮小傾向にあるが、一部部活で合同練習等を実施した。また、中学生を招いてのバドミントン大会を3月に実施予定で計画を進めていたが、こちらもコロナの影響でやむなく中止となった。
- 昨年度、体育祭に中学校の生徒・教員を招待し、本校の芸術鑑賞には堅上中学校の生徒・教員を招待した。
- 9月には、中学校進路指導担当者を招いて情報交換会を実施した。選抜はなくなったが、入学した生徒について高校生活の様子などについて情報交換した。
- 柏原市が実施する生徒会サミットに参加した。小中がメインだが、先輩として本校生徒会執行部の生徒が参加させてもらっている。生徒にとって、学校外での活動に参加できることは、いい経験となり多くのものを得ることができた。
- 柏原市との連携で、12月に2年生を対象に柏原市内の企業見学会を実施した。昨年度は17名の2年生が参加した。市からバスを出していただいて2社見学に回った。市内の企業に就職を希望する生徒もあり、進路決定に向けていいきっかけとなっている。
- 柏原市内のベンチャー企業「AKIPPA株式会社」の金谷社長に生徒向けに講演をしていただいた。生徒にとって身近な話をしていただいて、興味深く聞いていた。その後も起業についてのワークショップを継続的に実施する計画もあったが、コロナの影響で臨時休業となり実施できなかった。

○地域連携として、地域住民の方に各行事の案内をしたり救急講習会などに参加していただいている。また、秋の地域大清掃には、生徒・PTAが参加している。

(3) 大阪教育大学との連携事業について (吉岡教頭)

○機能統合で、学部生のフィールドワークや教職大学院の実習は八尾翠翔高校へ移っている。

○教育実習生の受け入れを実施している。今年度も書道で1名受け入れ予定である。

○教職コンソーシアムの「教師にまっすぐ」の講師として、2回参加した。

○国際交流事業として、生徒と留学生との交流事業を実施している。一昨年度までは本校で、昨年度からは八尾翠翔で実施している。本校からは生徒会執行部、茶道部、書道教員が参加した。

(水元校長)「AKIPPA株式会社」について、非常に注目されている会社で、会社設立には本校の卒業生も参加している。大切なことは人間力であるという話には、生徒たちに響くものがあった。

(4) B-up タイム及び特別進学コースについて (川田首席)

○基礎力定着に向けたB-up タイムについて、今年度は5月末まで臨時休業だったので家庭学習課題として取り組ませ、6月に実力考査として学習内容を確認した。完全な自学自習となったが、しっかり取り組んでいる生徒も多くいた。今後は、授業期間内で実施していく。天声人語の書き写しにも取り組んでいく。

○特別進学コースは放課後の時間をメインに実施しているが、今年度は2名と人数が少ないことから個別対応も取り入れフレキシブルに実施している。大学の公募推薦入試突破を目標に頑張っている。

(5) 閉校に向けて (吉岡教頭)

○閉校式典は、令和3年3月7日(日)に卒業式後に実施する。同窓会は、そのあと総会を開く予定である。

○閉校記念誌は、これまでの周年誌とそれ以降の記事で作成する。先日原稿依頼を発送した。2月末に完成予定である。

○記念品を作成予定である。今後選定を進めていく。

○八尾翠翔高校に記念室を作る。教室半分のスペースにアルバムや賞状、PTA関係のものなどを置く計画である。

○本校の物品については、府立学校に譲渡する。申し込みをしてもらって抽選の上決定する。現地確認を8月に実施する。

(水元校長) 同窓会も本校閉校をもって活動を終える予定だが、現在ベトナムでの小学校校舎建設に資金協力をしている。すでに校舎は完成し利用を始めている。校名にも「かしとん」という名前を入れてもらっている。全国にも同じような取り組みをしているところがあり、連絡をもらうこともある。最後の卒業生は、卒業と同時に同窓会活動も終わってしまうことになるが、柏原東の卒業生の仲間に入ることに変わりはなく、卒業式と最後の総会を続けて行い、同窓生の繋がりはないということを確認したい。

6 令和2年度学校状況について（吉岡教頭・吉野首席・川田首席）

○行事予定表の確認

- ・土曜日の授業、夏季休業・冬季休業の短縮、行事の変更等について

○オンライン授業について

- ・メールマガジンを活用してオンライン授業を構築、2学期以降GSuiteを活用

○部活動について

- ・3年生のみでの活動だが、バスケット、野球、陸上などが頑張っている。コロナの関係で試合も無観客になっている。きびしい状況ではあるが、できるかぎり活動させてやりたい。
- ・部の垣根を越えて、合同で活動している。

○学年について

- ・コロナの影響により3年生のスタートが6月になったことで進路指導が慌ただしくなっているが、生徒たちはよく頑張っている。
- ・例年進路決定後の指導に課題があったが、就職試験が1カ月遅れ体育祭も11月実施になったので、その勢いで引っ張っていききたい。

7 各委員からの意見・質問

【委員】部活動で兼部をしながらみんなで活動しているという姿が良いと思う。夢をかなえる3年生ということだが、それに向けて教員が筋道を付けて頑張っているということが想像できる。卒業生から学校生活に満足している話を聞き、以前から変わらず指導していただいていることがありがたく、最後まで続けてほしいと思う。

【委員】コロナでいろいろな活動が制約されていることが残念だ。部活など人数が少ないからできることを考えて、頑張してほしい。

【委員】これ以上コロナで活動が制約されず予定通りないことを祈っている。次回ぜひ体育祭の話が出来るようになってほしい。

【委員】教員が生徒たちにしっかり向き合ってくれて、生徒たちがそれを感じ取っているから今があると思う。そこが柏原東の良いところだ。これからもがんばってほしい。

【委員】教員が本気で向き合っていることを生徒は分かっている。その関係がいい学びの場になっている。コロナで大切な日々を削られて大変だと思うが、最後まで頑張してほしい。

8 その他

次回開催予定について

令和2年度第2回 令和2年11月体育祭後を予定